GAKUSEI TANTOSHAHO

学生担当者報 2

Vol.384

発行／天理教学生担当委員会　発行責任者／松村孝吉　編集責任者／福江弘一
[TEL]0743-63-1511（内線 5817）（直通）0743-63-2489　[FAX]0743-62-5780
[E-Mail]tsa@tenrikyo.or.jp　[TSA website]http://tsa.tenrikyo.or.jp

立教182年
平成31年1月25日発行

学修はお道と自分を結んでくれる 貴重なステージ

学生生徒修養会部　委員
渡部　芳文

少し前、めずらしく中学生の息子と近所のスーパーに買い物に行った帰り道のこと、私がみかぐらうたを口ずさんでいたら、「父ちゃん、やめてよ」と。「何で?」と応えると「恥ずかしいよ」と言う。情けない話だが、どうやら息子は、私に似てハニカミ屋である。私も思春期の頃は、自分の家が天理教の教会である事を言えずにいたことを思い出した。教会や信者子弟でも案外、信仰していることに自信が持てず、内向きでいる子も多いのではないかと思う。

次はちょっぴりいい話。学修高校の部に参加した娘は、教会へ戻ってから今もおつとめ後の夕席の話までしっかり聞くようになった。どうしてかと聞くと、「学修でおつとめの素晴らしさを初めて知った」「お道をもっと学びたいと思った」と言う。「初めて?」親の私としては伝えていたつもりだが、只々学修に感謝するばかりである。

また昨年、私は初めて学修大学の部の塾に入れていただいた。そこでは、それは何とも素晴らしい講師の先生方の感動と涙のレクチャーがある。そして期間の山場であるにをいがけに向けて、学生それぞれが学んだ、自分の伝えたいお道の教理を原稿にし、カウンセラーと共に準備をしていく。さらに、「教祖のお供として」を心に刻み、街頭に立つのである。まさにその姿は布教師であり、帰ってきた学生は皆、自信が漲っているのである。

話は変わるが、私の教会の初参拝者台帳を見ていたら、二十歳前後の若者が多い事に気づいた。皆初めて経験する深い悩みであったり、これまで言葉に出せなかった親への思いを口にするのである。また、信仰の代を重ねた学生もこの年頃になり、初めて反発や壁にぶつかる事も多いのも事実である。

そうした時に、学修はお道と自分を明確に結んでくれる、意味を学べる親心溢れる貴重なステージであると思う。かつて先人の先生方も青春時代、教祖を慕いおぢばへ帰ってこられた。そこで親心と信仰への自信をつけて白熱の布教展開をされたことと想像する。

お道と社会に貢献できる人材育成を思う時、身近にいる学生に学修というこれ以上無いステージに立たせてあげたいと切望するばかりである。最後にハニカミ王子、旬が来たら学修に！

立教182年　学生担当委員会　活動方針　『誠の心で人材の育成につとめよう』

お知らせ

二月例会

・期日　立教182年2月25日
・時間　15時30分受付　16時開始
・場所　教庁4階講堂

報告

十二月例会

去る12月25日、教庁4階講堂に於いて「十二月例会」を開催。出席は41教区、120直属。

学生層育成者講習会 日程・会場案内

【教区】

・滋賀	2月2日11時～	教務支庁
・岡山	2月2日11時～	教務支庁
・大分	2月3日10時～	教務支庁
・香川	2月10日9時30分～	教務支庁

【直属】

・松阪	2月20日12時～	大教会
・笠岡	2月21日11時50分	大教会
・上之郷	2月21日12時～	大教会
・東愛	2月22日12時～	大教会
・甲府	2月22日12時～	大教会
・双名島	2月22日11時30分	大教会
・越乃國	2月23日12時～	大教会
・鐸姫	2月23日11時40分	分教会
・中和	2月24日11時～	大教会
・西	2月24日12時30分	大教会

各地の動き

【教区学生層育成者講習会】

・広島　12月1日　教務支庁　105名
・鹿児島　12月1日　松村委員長出向
・熊本　12月4日　教務支庁　45名
　飯降信委員出向
　東肥大教会　60名
　葛西委員出向

人事

《立教181年12月25日付》

【直属学生担当委員長辞令交付】

・古山和敬（東濃・平愛）
・舩冨明典（泉・泉高）
・辻　成朗（大原・京大原）

業務記録

《立教181年12月16日～立教182年1月15日》

12月20日　事務局連絡会
23日　三誌一括発送（～24日）
24日　研修会チーム会議
25日　委員会
　例会
　まなびば部員・本部スタッフ
　事前研修会
1月4日　おせち学生ひのきしん隊（～7日）
7日　出版部部会
8日　委員会
　広報室会議
　担当者活動部部会
9日　学修大学の部研究室会議
　学修高校の部研究室会議
　web Happist チーム会議
　学生連絡会
　学生部部会
10日　学修高校卒業生コース研究室会議
15日　春の学生おぢばがえり
　プロジェクトチーム会議

立教百八十一年　春の学生おぢばがえり　決起の集い　開催報告

昨年十二月二十二日から二十三日にかけて、本部第十二母屋を会場に「立教百八十一年 春の学生おぢばがえり決起の集い」を開催し、二十八教区より七十一名、二十八直属教会より五十名、学生スタッフ四十九名、合計百七十名が参加しました。

この行事の目的は、教区、直属学生のリーダーが春の学生おぢばがえり（以下、春学）に向けて、一人でも多くの仲間に声をかけ、おぢばにお誘いすることが自分たちのおたすけであり、そこに信仰の喜びを持って勇んで取り組んでいくことを目指すものです。

プログラムでは、昨年の春学の式典での真柱様のお言葉より、自らの日々の信仰姿勢と学生会活動を振り返り、改めて学生に望まれる真柱様の思いを見つめ直させていただき、今一度お道の学生会員として立教百八十二年の春学開催に向けて心を一つに揃えさせていただきました。その上で、学生からの感話や学年別でのグループワークなど、春学に向かうにあたって支え合い助け合える仲間の存在を改めて感じることができました。

また期間中には、練り合いの場や質疑応答の場も設けて、春学についてそれぞれの持ち場立場からの疑問や動員についての悩みなど問題を解決していくための話し合いも真剣に行われ、声がけが自分たちのつとめでありおたすけである意識をより一層高め合いました。

そして、プログラムの締めくくりには、一人ひとりが春学に向かうにあたって決意を固め、教区・直属の学生が一手一つに実動することを誓い合いました。

立教百八十二年　おせち学生ひのきしん隊　開催報告

新春の親里で開かれた「お節会」に際し、本年も「おせち学生ひのきしん隊」を結成し、「喜びあふれる笑顔と明るい声のさわやかなおもてなし」を合言葉にひのきしんに励みました。今回のおせち学生ひのきしん隊には全国各地から二百七十九名（高校生百十九名、大学生百六十名）の学生が参加し、一月四日から七日まで第三十八母屋にて合宿生活を送りました。

「お節会」では第三、第五会場において、主に給仕や誘導、食器洗いのひのきしんをさせていただきました。一人でも多くの方に喜んでいただけるよう精一杯のおもてなしを心がけ、ひのきしんを通し学生も多くの喜びを分かち合うことができました。また、期間中には四十八名（初席九名、中席三十九名）の高校生が別席を運びました。

学生たちは感謝の心を胸にご恩報じの気持ちをもってひのきしんに臨み、様々な持ち場での自主的な取り組みや人との交流を通して信仰の喜びを深く味わい、有意義な四日間を過ごしました。

◆参加者の声

帰参された方のためにひのきしんができて楽しかったし、笑顔が見られたので良かったです。班はもちろん他の班にも友達ができて嬉しかったです。来年も参加したいです。

（高校生　男子）

はじめはひとりぼっちで不安だったけど、友達ができて楽しかった。ひのきしんは、喜ばれ喜ぶすてきなことだなと思った。

（高校生　女子）

一人ひとりが勇ませあってすごく充実したひのきしんができました。四十年ぶりにお節会へ来られたという方を誘導させていただいて、すごく喜んでおせちをいただいている様子を見ると私まで嬉しくなりました。

（大学生　女子）

行事中に「Happist カメラマン」が撮影した写真を販売しています！

Happist Photo Gallery

ハッピスト フォト ギャラリー

おせち学生ひのきしん隊

内　　容：おせち学生ひのきしん隊

頒布期間：2019年1月25日～4月25日

購入方法：パソコンやスマートフォンで下記のURLにアクセスし、イベントIDとパスワード（各行事で異なります）を入力して閲覧・購入してください。イベントIDとパスワードの内容については、参加者への配付資料「Happist Photo Gallery」をご覧いただくか、学生担当委員会事務局（☎0743-63-2489）までお問い合わせください。なお、インターネットでの購入が困難な方は、学生担当委員会事務局の窓口にて対応いたします。

頒布価格：L版40円 2L版100円 ※別途送料が必要です。

ＵＲＬ：http://11kao.jp/

Happist3月号　予告

連載

・教理コーナー
おやじの小言!?【最終回】　山中 修（大典分教会長）

・信仰エッセー
明日の地図ひろげて　平井 直子（泉道分教会長夫人）

・発見がある 心が踊る
私立はっぴす学園【最終回】　渡辺 一平

・マンガ
ココロtravel【最終回】　ニシカワヨウコ

ついにHappistは最終号を迎えます。32年間ご愛読くださり、ありがとうございました！　また最終号では、4月に移行する〈Happist〉Website（仮）の情報もお届けします！

Happist 3

※内容は一部変更になる場合があります。〈Happist〉は４月からWebsiteへ移行します。

青　空

私は学生時代に学生会行事や会合に参加した記憶がありません。学生時代はアルバイト、スキーやサーフィン、イベントの立案等に没頭していました。そんな私が会活動に携わったのは、青年会の部員時代の学生生徒修養会大学の部カウンセラー以来になります。当時、青年会委員長で青年会畑でバリバリ活動していた私は、学生会活動にやや抵抗がありました。学修が進む中、自分の大学時代の記憶が蘇り自身も大変意義ある時間を過ごしました。四十八歳に牛込学担委員長の指名を受け、学生と接する頭の固くなった自分を寂しくも感じたものです。四十歳頃でしたか、男女の大先輩方に「お気持ちは何歳ですか？」と不躾な質問をした事があります。皆さん異口同音に「二十歳のままだよ」と笑顔と、半ば真顔で申されておりました。

明治三十一年十月二日のおさしづに「精神一つの理によって、一人萬人に向かう。神は心に乗りて働く。」

私は、若きあらきとうりようや信者さんに向けて「自分自身の意識や思考の中心に教祖をイメージし、純粋な信仰的直感を信じ、素直に言葉と行いに表わす事が特に重要です」と、発信しています。二十歳の心を思い起こし、今後もブレずに迎合しない信仰の歩みを進めます。今、改めて自身を振り返る機会を与えていただき感謝申し上げます。

牛込大教会学生担当委員会前委員長　小川正典

立教182年
「教区・直属 育成に役立つ講習会」 要項

日々は学生層育成の上にご丹精くださり誠にありがとうございます。

「育成に役立つ講習会」は、参加者一人ひとりが人材育成の現場において即戦力となり、スタッフ間のチーム力を高めるためにも有効な講習会です。開催を希望されます教区、直属は下記の要項に沿ってお申し込みください。

記

◎　内　　容　各教区、直属のニーズに合わせて相談の上、講習会のプログラムを作成します。
　例）グループワークを体験したい
　例）行事で使えるエクササイズやアイスブレイクをたくさん学びたい
　例）トレーナーができるスタッフを増やしたい
　例）学生層育成に関わるメンバーのチームワークを高めたい　など

◎ 講師派遣　委員１名、本部スタッフ若干名（受講者数により決定）が出向します。
　※派遣にかかる交通費は本部学生担当委員会にて負担します。

◎　開催要件　1泊2日かつ実質10時間以上の講義・実習時間が確保できることが望ましい。
　開催日は本会行事（学生生徒修養会・春の学生おぢばがえりなど）に重ならないこと。

◎ 申し込み　開催2ヶ月前までに所定の用紙にてお申し込みください。

「まなびば」開催会場一覧　《２月開催分》

教区	開催日時	場所	担当者	連絡先
奈良	2月2日13時30分～3日15時	敷島詰所		
静岡	2月9日13時～10日15時	教務支庁		

☆実施計画書は２ヵ月前までにご提出ください。

立教182年　学生生徒修養会 高校卒業生コース

高校卒業生が進学や就職などそれぞれの道へと進むこの時期に、教えを学び、同世代の繋がりを深めることは、その後の信仰生活の上で有意義なことです。

卒業後、どのような環境においても、おぢば、教会に繋がり、教えを拠り所とした生活を送ることができるよう、以下の要項で学生生徒修養会 高校卒業生コースを開催いたします。

募集要項

【名　　称】　立教182年　学生生徒修養会 高校卒業生コース
【主　　催】　天理教教会本部
【事 務 局】　天理教学生担当委員会
【期　　間】　平成31年3月10日（日）～12日（火）［2泊3日］
【受講対象】　①平成30年度高等学校卒業予定者
※卒業後の進路は問いません。
※天理高等学校第Ⅰ部、第Ⅱ部、天理教校学園高等学校の卒業予定者も受講可能です。
②全期間を通して受講できる者。
【定　　員】　500名
【受講御供】　5,000円
【内　　容】　講話、ねりあい、グループワーク、お楽しみ行事など
【集合日時】　3月10日（日）午前9時～9時30分
【解散日時】　3月12日（火）午後2時頃
【申込方法】　以下の書類を整え、最上級教会長を経て、学生担当委員会事務局に申し込んでください。
・受講願書　　1通
・返信用封筒　1枚
（保護者氏名、住所、郵便番号を記入し、82円切手を貼付ください。）
【申込期間】　平成30年11月25日（日）～平成31年1月31日（木）
尚、定員に満たない場合は、引き続き募集をいたしますので、事務局にお尋ねください。

※受講にあたっての詳細及び必要事項は、書面にて1月15日以降、随時保護者宛に郵送いたします。
※本人の意思を確認の上、お申し込みください。
※受講願書は学生担当委員会にあります。必要部数コピーしてご利用ください。
Websiteでもダウンロードできます。　http://tsa.tenrikyo.or.jp

立教１８２年
学生生徒修養会　大学の部

募 集 要 項

▽ 期　　間 ・・・・・平成31年3月3日（日）～3月9日（土）
▽ 受講対象 ・・・・・①平成31年1月8日現在、大学・短期大学・大学院・専門学校
高等専門学校（4年生以上）に在学している者。
②全期間を通して受講できる者。
▽ 募集人員 ・・・・・700名（男子350名、女子350名）
▽ 内　　容 ・・・・・講義、グループワーク、にをいがけ、ひのきしん、修練（おつとめ勉強）など。
期間中に別席を1席運べる日を設けます。
▽ 集　　合 ・・・・・3月3日　正午～12時30分に指定された宿舎に集合してください。
▽ 解　　散 ・・・・・3月9日　午前10時頃、各宿舎にて
▽ 受講御供 ・・・・・10,000円　詰所（直属学生担当委員会）に納めてください。

申 し 込 み

▽ 申込方法 ・・・・・以下の書類を調え、最上級教会長の署名・捺印をいただいた後、学生担当委員会事務局に申し込んでください。
・受講願書1通　※特に学年の記入間違いのないようお願いいたします。
・返信用封筒1枚（郵便番号、住所、氏名を記入し、82円切手を貼付してください）
▽ 申込期間 ・・・・・平成31年1月8日～2月25日
（事務処理の関係上、願書はなるべく2月15日までに提出してください）

※ 受講にあたっての詳細及び必要事項は、書面にて2月15日以降、随時本人に郵送いたします。
また、2月15日以降はTSA websiteでも確認ができますのでご利用ください。
※ 受講願書は学生担当委員会事務局、直属学生担当委員会、各教務支庁にあります。